



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 38

H30.11.1

今月のキーワード

しもつけ未来学習 (中学年)

とちぎっ子学習状況調査

前回に引き続き、「しもつけ未来学習」(中学年) についての紹介と「とちぎっ子学習状況調査」の結果分析(市全体) について掲載しましたので御一読ください。

しもつけ未来学習 (小学校4年生)

今回は、小学校4年生の活動を紹介したいと思います。4年生では、「しょうかいしたい場所はどこな」(お気に入りの場所について紹介する活動) を行います。

ねらい：自分のお気に入りの場所について友達や先生に紹介することができる。

現在使用している Let's Try! 2 の Unit 8 (This is my favorite place.) の学習をする際に、ふるさと学習の要素を取り入れた言語活動を行うことができます。

Activity

友だちとすきな場所をしょうかいし合い、その理由について知ろう。

名前	場所	理由
あなた		

活動例： P33 の Activity

すきな場所を紹介し合う際、地域にある施設や建物などについて話すことができます。



社会科副読本のなどを活用することで選択肢が広がり、自己表現の幅も広がります。

4年生

しょうかいしたい場所はどこな？

お気に入りの場所について、友達や先生につたえよう。
好きな理由も考えよう。
<メモ>

テキストイメージ



わたしは、つまき公園を紹介したいです。
長いすべり台があります。



私はグリムの森が好き。
イルミネーションがきれいだよ！



おたすけシート



Hello. I am (Kaori).
This is my favorite place.
It is (Fureai Park).
It is big.

「おたすけシート」として、各学年のページに参考となる英文を掲載します。例にしばられることなく、自由に自己表現活動を展開してほしいと考えています。

とちぎっ子学習状況調査より



今回は③無解答率の高かった問題について掲載します。

●設問9 内容につながるのある3文以上の英語（自分の好きな季節について）を書く問題

B シンガポール（Singapore）に住む友達ジャック（Jack）から、次のようなメール（e-mail）がきました。あなたならどのように返事を書きますか。下の口の中に、内容につながるのある3文以上の英語で書きなさい。

【ジャックからのメール】

How are you? It's hot here in Singapore all year round. Japan has four seasons--spring, summer, fall, and winter. Which season do you like? What do you do in that season?

Please tell me about it.

注：all year round 一年中 tell：～に教える

See you,

Jack

【あなたの返事】

Hi, Jack. I'm fine. How are you?

Thank you for your e-mail.

I'll tell you about my favorite season.



Please tell me about the seasons in Singapore.

Your friend,

(*your name*)

注：I'll tell you about～ ～について教えます
favorite いちばん好きな

○確認する力 テーマに基づく英作文

○分析・考察

- 模範解答は I like summer very much. I swim with my friends in the sea. I go to the sea with my family every year. と示されている。市全体の正答率は1文目が55.9%、2文目が34.4%、3文目が24.4%であった。1～3文目全ての無解答率は3割程度にのぼり、毎年上位層と下位層の差が顕著に表れている設問である。本題は、「正確な英文を書くこと」と「一貫性のある文を書くこと」の両方が求められる。生徒の解答累計から実態の把握（定着していること・していないことを明らかにする）を詳細に行い、授業改善へつなげたい。
- 教科書の本文を使った活動も考えられる。教科書にある対話文の続きをペアで考えて発表したり、本設問のように文と文の間に自分で考えた英文を考えて書く活動など、教科書を有効活用してほしい。
- 授業中、生徒が自分の思いや考えを表現する場面を十分に確保し、間違っても自分の伝えたいことを表現することの大切さや楽しさを味わわせたい。また、新出文法を含む英文をドリル的にトレーニングするだけでなく、会話に+1文を付け加えたり、伝えたい内容を自由に追加したりする活動を取り入れてほしい。 → 具体的な授業展開例については、次号へつづく

